



# 平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月6日

上場会社名 テイカ株式会社  
 コード番号 4027 URL <http://www.tayca.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 名木田 正男  
 (氏名) 山崎 博史  
 TEL 06-6208-6404

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	35,750	13.2	4,406	7.4	4,611	6.3	3,074	9.0
30年3月期第3四半期	31,581	13.6	4,759	13.1	4,923	12.2	3,379	12.1

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 2,158百万円 (59.5%) 30年3月期第3四半期 5,325百万円 (45.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	130.78	
30年3月期第3四半期	143.74	

平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり当期純利益は、全連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	59,805	44,494	73.9	1,879.25
30年3月期	58,843	43,043	72.7	1,819.24

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 44,180百万円 30年3月期 42,771百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		7.00		14.00	
31年3月期		16.00			
31年3月期(予想)				16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。平成30年3月期の年間配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮し、合計は「-」として記載しております。

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	17.6	6,400	5.9	6,500	6.4	4,200	15.9	178.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	25,714,414 株	30年3月期	25,714,414 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	2,205,020 株	30年3月期	2,203,939 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	23,509,744 株	30年3月期3Q	23,512,501 株

平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、期中平均株式数は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用環境や企業収益の改善を背景に、設備投資の増加や個人消費の持ち直しなどの動きが見られ、緩やかな回復基調で推移しましたものの、米中貿易摩擦の激化による実体経済への影響が懸念されるなど、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは国内外での新規市場の開拓や既存取引先との関係強化などを積極的に推進するとともに、経営全般にわたる効率化を推進し、収益の向上に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、昨年1月に子会社化しました米国T R S社などの連結子会社の売上増が寄与したこと、機能性用途の微粒子酸化チタンや表面処理製品の販売が引き続き好調に推移したことなどにより、売上高は357億5千万円（前年同期比13.2%増）となりました。利益面では、主にチタン鉱石や原燃料に係わる製造原価の上昇などにより、営業利益は44億6百万円（前年同期比7.4%減）、経常利益は46億1千1百万円（前年同期比6.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は30億7千4百万円（前年同期比9.0%減）となりました。

セグメント別の業績につきましては、酸化チタン関連事業の売上高は183億2千万円（前年同期比8.4%増）、その他事業の売上高は174億2千9百万円（前年同期比18.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産総額は、598億5百万円（前連結会計年度末比9億6千1百万円増加）となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が12億8千9百万円増加したことによります。

負債合計は、153億1千1百万円（前連結会計年度末比4億8千9百万円減少）となりました。これは主に、短期借入金が9億8千4百万円減少したことによります。

純資産合計は、444億9千4百万円（前連結会計年度末比14億5千万円増加）となりました。これは主に、利益剰余金が23億6千9百万円増加し、その他有価証券評価差額金が9億1千2百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,165	9,675
受取手形及び売掛金	13,381	14,671
商品及び製品	4,668	4,563
仕掛品	731	782
原材料及び貯蔵品	3,239	3,793
その他	447	514
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	33,630	33,997
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,316	4,532
機械装置及び運搬具(純額)	4,790	5,179
その他(純額)	2,017	3,207
有形固定資産合計	11,123	12,919
無形固定資産		
のれん	2,393	2,228
その他	58	75
無形固定資産合計	2,452	2,304
投資その他の資産		
投資有価証券	10,956	9,662
その他	704	945
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	11,636	10,584
固定資産合計	25,212	25,807
資産合計	58,843	59,805

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,234	5,389
短期借入金	1,780	796
未払法人税等	1,084	278
賞与引当金	381	206
その他	2,538	3,928
流動負債合計	11,020	10,599
固定負債		
長期借入金	35	144
環境対策引当金	1	1
退職給付に係る負債	3,230	3,228
その他	1,511	1,337
固定負債合計	4,779	4,711
負債合計	15,800	15,311
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,855	9,855
資本剰余金	6,766	6,766
利益剰余金	22,217	24,586
自己株式	△1,788	△1,791
株主資本合計	37,052	39,418
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,716	4,803
繰延ヘッジ損益	11	△37
為替換算調整勘定	205	194
退職給付に係る調整累計額	△213	△198
その他の包括利益累計額合計	5,718	4,761
非支配株主持分	272	314
純資産合計	43,043	44,494
負債純資産合計	58,843	59,805

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	31,581	35,750
売上原価	22,648	26,725
売上総利益	8,932	9,025
販売費及び一般管理費	4,173	4,618
営業利益	4,759	4,406
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	174	216
その他	43	46
営業外収益合計	221	265
営業外費用		
支払利息	23	34
たな卸資産廃棄損	4	8
その他	29	17
営業外費用合計	58	61
経常利益	4,923	4,611
特別損失		
固定資産除却損	118	163
ゴルフ会員権評価損	1	—
特別損失合計	120	163
税金等調整前四半期純利益	4,802	4,448
法人税、住民税及び事業税	1,339	1,205
法人税等調整額	57	129
法人税等合計	1,397	1,334
四半期純利益	3,405	3,113
非支配株主に帰属する四半期純利益	26	39
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,379	3,074

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	3,405	3,113
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,820	△912
繰延ヘッジ損益	71	△49
為替換算調整勘定	14	△7
退職給付に係る調整額	13	14
その他の包括利益合計	1,919	△954
四半期包括利益	5,325	2,158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,290	2,116
非支配株主に係る四半期包括利益	34	41



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	酸化チタン 関連事業	その他 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,905	14,675	31,581	—	31,581
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	467	467	(467)	—
計	16,905	15,143	32,048	(467)	31,581
セグメント利益	3,223	1,539	4,762	(2)	4,759

(注) 1. セグメント利益の調整額△2百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	酸化チタン 関連事業	その他 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,320	17,429	35,750	—	35,750
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	508	508	(508)	—
計	18,320	17,938	36,258	(508)	35,750
セグメント利益	2,640	1,773	4,414	(7)	4,406

(注) 1. セグメント利益の調整額△7百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。